

政 策 21

～安全な河川に整備し、きれいな水とふれあえるようにします～

後期基本計画における「めざそう値」等一覧

【めざしたい将来像】

清流と豊かな自然環境の保持に向けて、浸水被害を少なくし、川に親しめるような整備をすることで、川辺が市民の憩いの場となることを実現します。

| 指 標 | | 21年度 | 22年度 | 25年度 | 27年度 現状値 | 28年度 (注1) | 32年度 (注2) |
|---|---------------|---------|---------|--------------|-------------|--------------|---------------------|
| 緑地・河川などの 自然環境に満足 している人の割 合(再掲) | めざそう値 (目標) | — | 22.0% | 21.4% | — | 23.5% | 25% |
| | 実績値 | 19.4% | 20.6% | 18.8% | 21.5% | | |
| 流域整備面積率 | めざそう値 (目標) | — | — | 59.7% | — | 69.2% | 62% (※) |
| | 実績値 | 57.9% | 58.1% | 67.9% | 68.2% | | |
| BOD(75%)値(国 分川水系) | めざそう値 (目標) | — | 10mg/l | 10mg/l 以下 | — | 10mg/l 以下 | 10mg/l 以下 (※) |
| | 実績値 | 9.4mg/l | 9.4mg/l | 9.0mg/l | 6.7mg/l | | |
| 水質基準達成率 (国分川水系 BOD) | めざそう値 (目標) | — | 100% | 100% | — | 100% | 100% |
| | 実績値 | 75% | 100% | 83% | 100% | | |

| 指 標 | | 21年度 | 22年度 | 25年度 | 27年度 現状値 | 28年度 (注1) | 32年度 (注2) |
|------------------------------|---------------|---------|---------|-------------|-------------|--------------|--------------|
| BOD(75%)値(坂 川水系) | めざそう値 (目標) | — | 5mg/l | 5mg/l 以下 | — | 5mg/l 以下 | 5mg/l 以下 |
| | 実績値 | 2.8mg/l | 3.9mg/l | 3.5mg/l | 2.0mg/l | | |
| 水質基準達成率 (坂川水系BOD) | めざそう値 (目標) | — | 100% | 100% | — | 100% | 100% |
| | 実績値 | 100% | 100% | 100% | 100% | | |
| 河川利用イベン トの参加者数 | めざそう値 (目標) | — | — | 22,000人 | — | 14,000人 | 22,000人 |
| | 実績値 | 18,700人 | 4,300人 | 9,100人 | 10,050人 | | |
| 下水道利用率 (下水道利用者 数/市内人口) | めざそう値 (目標) | — | 76.30% | 78% | — | 81% | 85% |
| | 実績値 | 74.10% | 74.83% | 78.09% | 79.01% | | |

(注1)平成28年度のめざそう値は、第5次実施計画でめざす目標値です。めざそう値(28年度)設定の考え方は、第5次実施計画に設定した「めざそう値」の指標解説によります。

(注2)平成32年度のめざそう値は、後期基本計画書に記載しているめざそう値を記入しております。その中で“(※)”の表記のあるものについては、第6次実施計画策定時に平成27年度の現状値などを踏まえ見直します。

政策21

安全な川に整備し、きれいな水とふれあえるようにします

1.水害を少なくします

1. 現況と課題

本市における河川は、江戸川に沿った低地を中心とする坂川流域、市川市を下流域とする真間川流域、手賀沼を下流域とする手賀沼流域の3つの流域に分かれています。過去の大雨では、坂川と新坂川に挟まれた栄町・西馬橋地区や長津川沿いの中和倉・新作地区、前田川沿いの八ヶ崎地区、国分川沿いの大橋地区、春木川沿いの日暮地区などで浸水被害が発生していましたが、河川や排水路の断面積を広げる改修事業により、年々浸水区域も減少しています。

これまで、基本的に1時間50mm程度の降雨を想定して対応しておりますが、近年、突発的な集中豪雨による浸水被害が発生しており、更なる排水路の整備が望まれています。

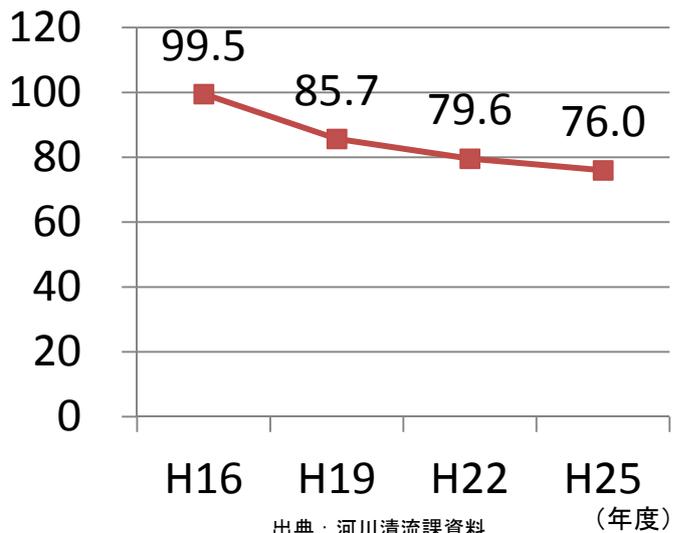
【特筆すべきニーズの変化】

- ① 浸水被害の恐れのある地区が、集中豪雨に見舞われても、浸水被害が起きないようにすることが望まれています（ニーズの増）
- ② 集中豪雨のときでも、幹線道路は安全に移動できるようになっていることが望まれています（ニーズの増）

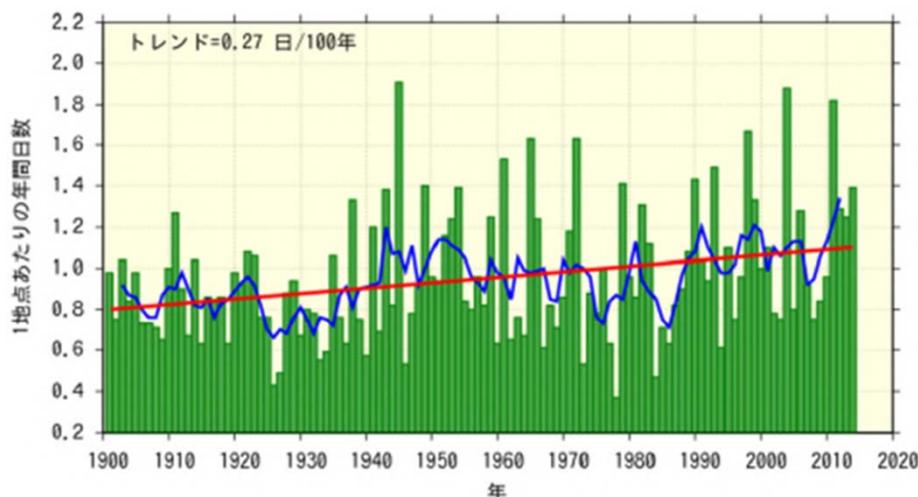
●松戸市の河川流域（全体：61.33Km²）



●浸水面積の推移 (ha)



●日降水量100mm以上の日数



気候変動監視レポート
2014(気象庁)

政策21

安全な河川に整備し、きれいな水とふれあえるようにします

2.水環境をよくします

1. 現況と課題

江戸川及び坂川流域では急激な都市化が進み、以前は汚濁や臭気の発生など河川の水環境が大きく悪化していました。このため行政（国・県・市）と地域住民が一体となった「水環境改善緊急行動計画（清流ルネッサンス21）」、「第二期水環境改善緊急行動計画（清流ルネッサンスⅡ）」により、国による「ふれあい松戸川」の整備や下水道事業等との連携などにより水環境の改善を進めてきました。なお、下水道利用率は、平成13年度に62.17%であったものが、26年度には、79.01%となっています。

千葉県に協力して進めている「坂川再生事業」では、小山から赤塚までの区間で、川沿いの歩道や川岸の整備、水辺に近づける工夫、植樹やレンガ橋の保存などを進めています。

河川水質の代表的な指標であるBODの推移をみますと、坂川流域では、平成13年度に5.9mg/lが26年度には2.0mg/lに、国分川流域では、15mg/lが6.7 mg/lになり、環境基準値の10mg/lを下回っています。

【特筆すべきニーズの変化】

- ① 生活排水が河川を汚す原因とならないことが望まれています（ニーズの増）
- ② 日常生活において川や水辺が憩いを与えてくれることが望まれています（ニーズの増）

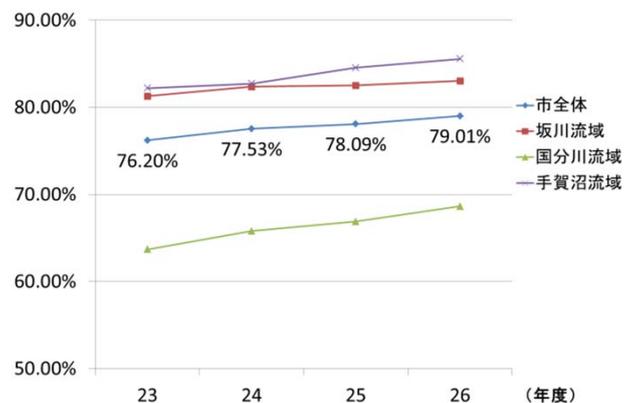
●親水マップ



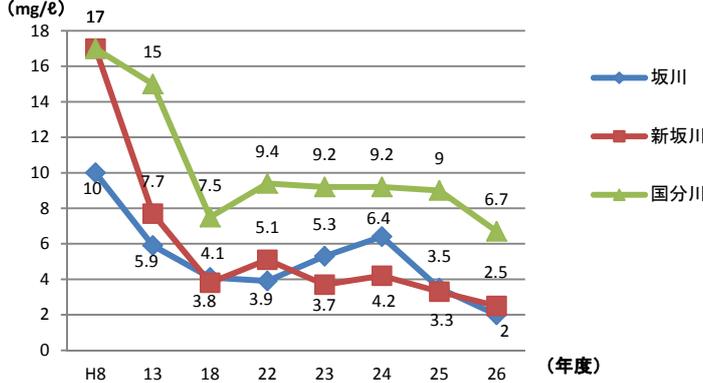
●親水マップに掲載されている湧水等

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. 幸田湧水 | 13. 宮ノ下湧水 |
| 2. 富士川親水広場 | 14. 川の一里塚（樋野口） |
| 3. 新坂川親水護岸 | 15. 竹ヶ花雷電湧水 |
| 4. 川の一里塚（主水新田） | 16. ふれあい松戸川 |
| 5. 六間川桜並木 | 17. 小山親水水路 |
| 6. 旭町水辺広場 | 18. 坂川再生事業区間 |
| 7. 坂川親水プロムナード | 19. 国分川多自然護岸 |
| 8. 新坂川緑道 | 20. 坂川親水広場 |
| 9. 大清水湧水 | 21. 川の一里塚（矢切） |
| 10. 川の一里塚（古ヶ崎） | 22. 秋山湧水 |
| 11. 千駄堀湧水広場 | 23. 柳原親水広場 |
| 12. 江戸川松戸フラワーライン | |

●河川流域ごとの下水道利用率の推移



●坂川・新坂川・国分川のBOD経年変化（75%値）



※ 近5年と過去5年毎のデータ

出典：環境の現状と対策

出典：下水道整備課資料

2. 施策の展開方向

本市は、行政面積に対する河川の延長が県内で最も長い都市です。親水性に配慮した整備を実施するとともに、環境学習などの市民参加による水辺活用プロジェクトを推進し、こうした豊かな水の資源を都市の魅力づくりに生かしていきます。

また、河川の水質保全や衛生的な生活環境の向上のため、普及率100%をめざして下水道施設の整備、普及を推進します。

さらに、市内河川にかつての清流を取り戻し、生態系の維持機能の向上を図るため、排水における水質の規制や河川愛護の啓発に努め、公共下水道整備を推進します。

また、雨水の貯留や浸透による水源の確保や環境用水などの導入を図り、河川や湧水地の水量の確保に努めます。

3. 施策を推進していく上での課題

水環境の保全を図る上で、安定した河川水量の確保、下水道利用率の向上に努めます。

また、住民が愛着を持てる親水施設であるよう、修繕・再整備が必要です。

【特筆すべき松戸の強み・弱み】

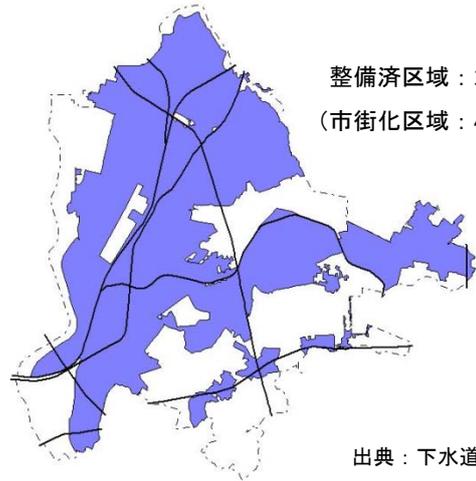
- ① 市内河川への導水、下水道の整備などにより、河川の水質改善を行っています(強み)
- ② 地下水や湧水地の保全に努め、河川流量を増やし、水環境を再生させるため雨水浸透ますの設置を推進します(強み)
- ③ 親水施設の老朽化が進んでいます(弱み)
- ④ マンホールの浮上防止対策や簡易水洗式仮設トイレの整備など、耐震対策が進んでいます(強み)

●河川浄化施設と導水場所の位置



河川浄化施設 4ヶ所
導水場所 3ヶ所

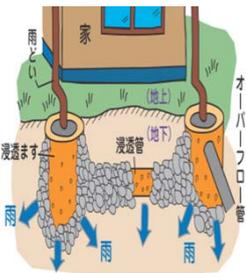
●下水道整備済区域(平成26年度)



出典：下水道整備課資料

●雨水浸透ますの設置について

出典：松戸市のホームページ

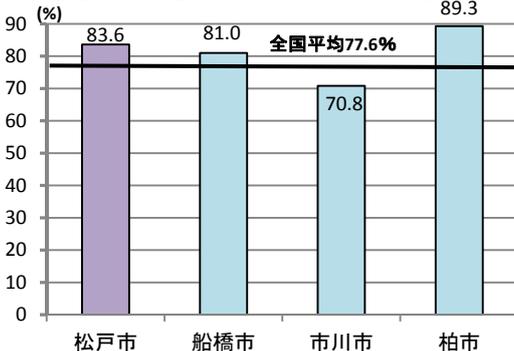


松戸市では、家の新築や建て替えの際には、雨水浸透施設(浸透ます・浸透管など)の設置をお願いしています。

雨水浸透ますの設置により洪水の軽減が図られるだけでなく、地下水や湧水が保全・回復したり、平常時の河川流量が増えるなど、水循環が再生されます。

出典：松戸市のホームページ

●下水道普及率の近隣市比較(平成26年度)



出典：日本下水道新聞

●簡易水洗式仮設トイレ(マンホールトイレ)



マンホールトイレの整備(平成26年度末)
小中学校 15校 143基

出典：松戸市のホームページ